

令和7年度 狭山市立水富小学校 学校関係者評価表

※ 学校が行った自己評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方策について評価する。

※ 【評価の目安】

- A：よくできている。(90%以上)
 B：概ねできている。(85%以上)
 C：あまりできていない。(70%以上)
 D：できていない。(70%未満)

領域	番号	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員から 評価(文章表記)
			評価	説明	
学校運営全般	1	学校の重点目標が明確である。	B	・本年度の重点目標である「児童からの信頼、家庭・地域からの信頼、教職員相互の信頼を基盤とした学校づくり」に向けて、全教職員が当事者意識を持って学校経営に参画している。	・教職員が協力して、教育活動に取り組み、良く指導ができてきている。 ・教育目標に向けて、先生方が協力して教育活動に取り組まれているように思う。 ・常に整理整頓され、安全管理も行き届いている。 ・「福祉体験教室」「笹井空襲・戦争と平和」についての人権や生命尊重の教育を計画的に行っていることも良い。 ・児童の明るい姿を見ると校長が中心となり、先生方が熱心に教育活動に取り組んでいることがわかった。 ・穏やかで落ち着いた雰囲気です学校生活が送れている。 ・トイレの改修は課題。 ・元気にあいさつができる児童が増えてきた。
	2	児童生徒は、学校生活が楽しいと感じている。	B		
	3	教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。	B		
	4	清掃が行き届き、学校がきれいである。	C		
	5	学校の施設・設備は安全に管理されている。	B		
学習	6	教師は、児童生徒が興味関心のもてる授業、わかりやすい授業を実施している。	B	・どのクラスも比較的落ち着いた雰囲気です授業を展開している。 ・「自ら学びに向かう児童の育成」を研究主題とし、学校課題研究を進めている。	・先生方が子供たちの興味関心意欲を引き出すための工夫をし、それを受けて子供たちも生き生きと授業を受けているように見受けられた。 ・授業のほか、各種行事なども工夫をこらして熱心に取り組んでいるのがわかる。 ・大空学級の餅つきでは、児童は大変喜んでた。他の学年でもこのような機会ができると良い。 ・子供たちががんばっている姿が如実に出ています。 ・学力向上のための校内研究をしっかりとされていて、基礎的な学力が身についている。
	7	児童生徒は、落ち着いて学習に取り組んでいる。	B		
	8	児童生徒は、基礎的基本的な学力を身に付けている。	B		
	9	児童生徒は、家庭学習の習慣を身に付けている。	C		
	10	児童生徒は、英語活動をおとして積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	B		
規律ある態度	11	児童生徒は、進んであいさつをしている。	B	・生徒指導・教育相談委員会を月に1度行い、全教職員が児童理解に努め、共通理解のもとで児童の指導にあたっている。 ・登校時のあいさつに課題が見られるため、引き続き指導していく。	・「あいさつ」が苦手な子供もいるが、周りで助けてあげれば良くなる。 ・いつ来校しても、子供たちは気持ちの良いあいさつをしてくれます。学習支援に入ったときはお礼の言葉もしっかりと言っている。 ・授業開始のチャイムが鳴ったとき、余裕を持って教室に戻っている児童が多い印象がある。 ・登校時の朝のあいさつは進んでできる児童が少ない。 ・町探検では、落ち着いた態度で説明をよく聞いて、ノートに書いたり、写真をとったりできていた。 ・挨拶もできているし、言葉遣いにも場に応じている。時間も守れている。 ・校内に入ると進んで気持ちよいあいさつをしてくれる子が多く、言葉遣いもよい印象をうける。
	12	児童生徒は、場に応じた言葉遣いができている。	B		
	13	児童生徒は、時間を守って生活している。	B		
	14	児童生徒は、きまりを守って生活している。	A		
	15	教師は、自ら手本となり、規範意識を高めている。	B		
健康・体力	16	学校は、児童生徒の体力を高めている。	B	・どの学年も年間計画に基づき、体育の授業を実施することができた。 ・朝の外遊びを今年度から新たに実施した。	・朝の外遊びにより、子供たちの体力の向上が顕著に見受けられる。 ・朝遊び、業間、昼休みに元気よく外で遊んでいる児童は多い。 ・1学期当初と比べて、目を見張る成長。「軽い身のこなし」にはたくましさ、体力が著しく伸びたと感じる。 ・朝遊びの時間が健康・体力に大きな影響を与えており、それが集中力や学力向上にもつながると思う。とても良い取り組み。 ・運動会では、全児童が楽しく取り組んでいる姿が見られた。 ・登校後の朝遊びや休み時間に活発に遊ぶ姿から、遊びながら体力を身につけていると感じる。
	17	児童生徒は、体育や外遊びに意欲的に取り組んでいる。	A		
	18	児童生徒は、健康を意識した生活をしている。	B		
地域との連携	19	学校は、教育活動に関する様々な情報を積極的に提供している。	B	・スクリレを活用した情報発信を行っている。 ・様々な活動で、ボランティアや外部講師を活用している。	・水富の宝、町探検、読み聞かせ等、地域の人との交流授業に力を入れていると思う。今後も継続してほしい。 ・学校は、スクリレ配信だけでなく、緊急メール、Eメール、手紙、電話など、様々な連絡ツールを使い、家庭との連携はもちろん、学校運営協議会、SSVC、APOC、自治会、公民館等様々な団体と情報を共有し、連携・協力をしようと働きかけている。 ・見守り活動など、地域住民が熱心に学校を支えている。学校ともうまく連携がとれているように感じる。 ・教職員と学校運営協議会委員との夏季に行った座談会はとても有意義で、地域と連携・協力していくうえでも教育活動に関する情報が得られたことはとても良かった。 ・今後は自治会長や民生委員、更生保護女性会なども委員を依頼したらどうか。地域全体での活性化に繋がるのでは。 ・地域との連携がしっかりとれている開かれた学校であると思う。
	20	学校は、保護者や地域と連携・協力し、教育活動を行っている。	B		